

暑さに負けない! 彩のかがやき栽培暦

普通期栽培

暑さ対策の
2大ポイント

最も効果的な暑さ対策は6月移植!

6月10日~25日に植えよう

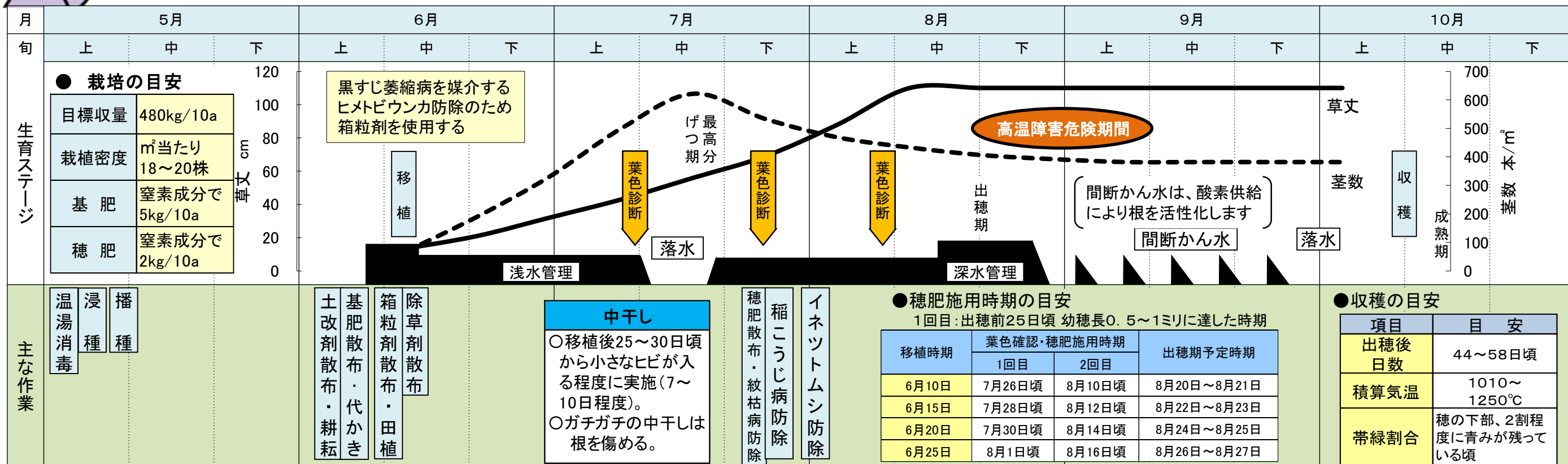
※ただし、6月下旬以降の移植は食味が低下する恐れがあります
※農業用水の取水期間・量は地域毎に決まっていますので御確認下さい

葉色の低下は高温障害の危険信号!

葉色診断による追肥を行おう



埼玉県マスコット「コバトン」



育苗

○温度管理に注意。30℃を超えるような高温はムシ苗や苗立枯病の原因となるので絶対に避ける。
○晴れた日のトンネルのかけっぱなしは厳禁!

穂肥

○上表「穂肥時期の目安」および下表「葉色診断による追肥方法」を参考に実施!
○一発肥料の場合も葉色4以下の場合は穂肥を行う。

● 葉色診断による追肥方法(追肥量は窒素成分、葉色は群落値)

時期	移植後30日頃		穂肥① 出穂前25日		穂肥② 出穂前15~10日	
葉色	4以下	4以上	4以下	4以上	4以下	4以上
追肥	2kg/10a程度を追肥	追肥は行わない	2kg/10a程度を追肥	4以下になるまで追肥は行わず、4まで低下したら2kg/10程度を追肥。	2kg/10a程度を追加施用 ※注2参照	追肥は行わない

注 1. 穂肥①施用時の葉色が著しく低い場合(3以下)は穂肥②を出穂前15日頃に行う。
2. 穂肥②施用時に葉色が3~4の場合、気象庁の1ヶ月予報等を確認し、低温が予想される場合は施用しない。葉色が3以下の場合は必ず施用する。

出穂~収穫までの水管理

○穂肥施用後~出穂後7日までは湛水状態を保つ。
○出穂後7日以降は間断かん水を行う。
○間断かん水は一週間を1サイクルとし、3~4日ごとに湛水と断水を繰り返す。
○完全落水は収穫10日~2週間前とし、早期落水は絶対に避ける。

収穫

○穂下部の帯緑が抜けにくいいため、穂全体が黄化しては刈り遅れとなるので十分注意する。
○特に高温時には登熟日数が極端に短縮することもあるので、注意!